

Windowsの機能であるボリューム・コントロール(通常はWindowsのスタート→プログラム→アクセサリ→エンターテイメントの中にある)のオプション内にあるプロパティで録音コントロールに設定した後、マイクが選択されているか確認する必要があります(図8-25)。

またパソコンによってはマイク・ブースト機能がついている場合がありますので、マイク・ゲインが足りない場合には、それらの設定もこのボリューム・コントロールで行います。詳しくはパソコンやサウンドカードの説明をご覧ください。

● 他局から接続できないといわれた

認証が終わってステーション・リストにQRV局一覧が表示されても実際に接続できない、自分からは接続できても相手局から接続できないというトラブルが起こったとき、ほとんどの場合、ファイアウォールやルータの設定がうまくいっていないことが原因です。インターネット・セキュリティ・ソフトにもファイアウォール機能がついている場合も多いのでこれを無効にして、Windows XPのファイアウォールを使うという手もあります。

8-3 無線機と接続してリンク局(ノード局)を運用しよう

さて、PCユーザ・モードでEchoLinkネットワークの概要が理解できたら、いよいよパソコンと無線機をつないでアクセス・ポイント(リンク局やノード局とも呼ばれる)の運用にチャレンジしてみましょう。

これにより、自局はもとより他局もあなたの設備を利用して、EchoLink経由でQSOできるようになります(図8-26)。

工程は、無線機とインターフェースをつないで、ソフトウェアの設定、変調レベルの調整を行うだけです。

■ 使用する無線機設備は？

使用する無線設備はノード開設の目的にもよります。複数のローカル局や不特定多数の局でノード局を利用したい場合は、一般的な設備での運用になります。他方、ご自身のノード局を自分でしか使わな

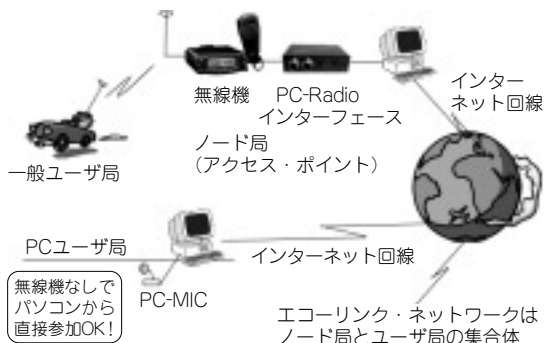


図8-26 EchoLinkのコミュニティ・ネットワークのようす



写真8-3 無線機についている機能を活用して、連続送信などのトラブルを回避できる設定にしておこう